

Welcome to TOEFL Mail Magazine!



5月も半ばになり、夏の気配がする今日この頃。5月病になんてかかっていますか？
 万が一そんな時には、TOEFLメールマガジンで新しい世界へ視野を広げてみて下さい。もちろん、元気一杯の皆様も新しい情報源としてご活用下さい。

今月のTOEFLメールマガジンは、先月に引き続き日本に上陸した次世代TOEFL教育支援ツール情報を、東京で開かれた「次世代TOEFL」記者発表の様々とお伝えいたします。

公的留学機関からの留学情報としてご好評いただいている「世界で学ぶ！はじめの一步」は、英語とフランス語が公用語のバイリンガルな国カナダにフォーカスしました。また、人気の高い「TOEFL受験者インタビュー」は、先月からの「初めてのTOEFL」の後編として、TOEFLをはじめ受験された社会人の方々に話を伺いました。

光合成をしてすくすく伸びる木々に負けず、どんどん新しい情報を吸収していきましょう。

国際教育交換協議会(CIEE) 日本代表部 TOEFL事業部



メールアドレスが変更になった方は、こちらのアイコンをクリックのうえ、ご連絡下さいますようお願いいたします。

メールマガジンに登録する

キャンペーン特集！次世代TOEFL対応教育支援ツール情報

大解剖：【Criterion】・【LanguEdge】の魅力!!

現在、CIEE TOEFL事業部では次世代TOEFL対応教育支援ツールキャンペーンを実施中です！
 オンラインによるライティング評価ツール【Criterion】と次世代TOEFLに加わるスピーキングの概要をご覧いただけ、教師・生徒ともに新しいテストに向けて準備をしていただける【LanguEdge】の日本上陸にあわせて、これらのツールの魅力をお届けいたします。

世界で学ぶ！はじめの一步～カナダ編～

CIEEは各国への留学を考えている皆さんを応援しています!!
 このシリーズでは、留学への「はじめの一步」を踏み出すための情報をお伝えしていきます。分かっているようで実ははっきりと把握できていない各国の留学情報を、公的情報機関を訪問して専門家に伺います。3回目の今回は、英語とフランス語が公用語のバイリンガルな国・カナダにフォーカスし、カナダ大使館のレオ・ヨッフエさんにお話を伺いました。

好評連載：言葉の玉手箱

ETS公認コンサルタント 川手-M 恩 先生による言葉の新発見

英語に限らず外国語を学習していると、言葉の世界の奥深さに気付かされます。古来の日本人は言霊（ことだま）と評して、言葉には霊が宿り、見えざる力を働かすのだと考えました。使い慣れた短いフレーズの中にもコミュニケーションを左右するほどの力があるのです。
 ご好評頂いている連載「言葉の玉手箱」では、ETS公認コンサルタントの川手 ミヤジェイエフスカ 恩先生が、異文化間コミュニケーションにおける言葉の使い方の重要性に焦点をあて、興味深く解説して下さいます。言葉の世界の面白さをお楽しみください。

TOEFL研究セミナースケジュール（教育者対象）

（ご案内のセミナーは既に終了しています。）

昨年12月に好評を博したTOEFL研究セミナーを京都でも開催することになりました。このセミナーでは、2000年から2004年にかけてのTOEFLの動向に沿って21世紀における英語教育のあり方を考えます。特にアカデミック・ライティングや英語伝達能力育成に向けての効果的な学習方法とその指導方法を探ってみます。また、コミュニケーションな英語能力を正しく測定しようという試みによって2005年9月から始動予定の次世代TOEFLに向けての効果的な学習指導方法等もETSの開発した教育支援ツール【Criterion】とともにご紹介します。

TOEFL受験者インタビュー～初めてのTOEFL：社会人編～

先月号に引き続き、初めてTOEFLを受験する方にスポットをあてて4名にインタビューしたものをお伝えしています。

高校生、大学生、社会人、管理職の方とそれぞれ立場も様々で、皆さんそれぞれの目標に向かって一生懸命頑張っていたらっしゃいました。また受験した感想もそれぞれで、この4名が語ってくださったことが、是非ともこれから初めて受験されようと思われる方のご参考になればと思っております。

今回は社会人2名のインタビュー内容をお伝えいたします。

必見！耳より情報(ご案内のセミナーは既に終了しています。)

セミナースケジュール発表

当事業部では、国際標準の英語能力評価試験であるTOEFL®の日本事務局として、コンピュータ版TOEFL®(TOEFL-CBT)について分かりやすくご説明するセミナーを無料で開催しております。(東京：毎月1回、関西：隔月1回予定)

ご好評頂いているこのセミナーでは、ETS公認コンサルタントが試験対策とともにコンピュータ版試験の説明をいたします。質疑応答の時間もございますので、不安を取り除いて本番試験に望めます!!セミナーに参加いただいた方にはTOEFL CD-Sampler(定価\$18：サンプル問題67題含む)も無料で配布しております。

世界に飛躍するために今後TOEFLを受験されるご予定の皆様はもちろんのこと、コンピュータ版TOEFLにご興味のある方はどなたでも参加できます。今後の準備に是非お役立て下さい。



英語教育者向け

CIEE TOEFL事業部では、次世代TOEFL対応教育支援ツールのキャンペーン中！！
4月から始まったこのキャンペーンでは、次世代TOEFL対応教育支援ツールをご体験いただけるほか、
期間限定価格でのツール販売など魅力満載です。

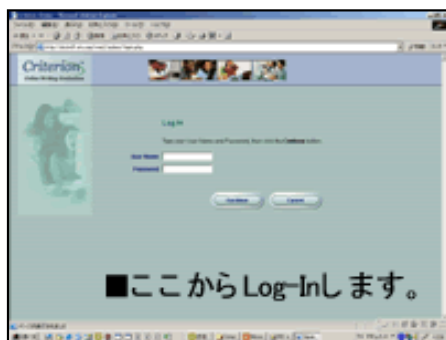


ライティングの画期的なオンライン学習プログラム 【Criterion】
～ オンラインツールなので、ご自宅で、学校で、場所を選ばずご利用いただけます。～

2000年から始まったコンピューター版TOEFLにはライティングが加わり、アカデミックライティングの基礎能力が要求されます。

TOEFLテストの実施・運営団体であるETSが、ライティングの指導に役立てていただけるCriterionオンライン・ライティング評価ツールを開発いたしました。インターネットを利用して学生・生徒の英文エッセイを瞬時に採点し、客観的フィードバックを与えるe-rater採用のこの画期的なオンラインプログラムは、[米国では数多くの教育機関・企業で導入・採用されています。](#)

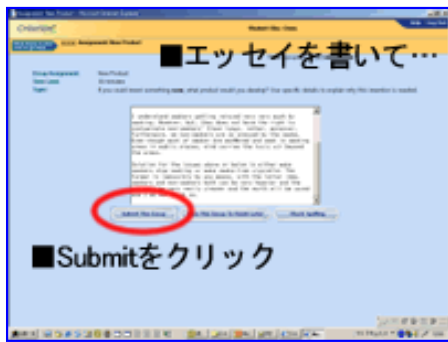
日本では、国際教育交換協議会が4月15日より発売し、既に高等学校・大学の授業に取り入れられています。



Student用画面（画面をクリックすると画像が拡大されます。）



自動採点機能（E-rater）による即座に結果のフィードバックシステムは、学生に限らず、全ての学習者が最も信頼を寄せる学習プログラムです。作文添削・採点・成績統計・文章構成の分析などに使用できる効果的なツールで、クラス分け、宿題提出など教師の優秀な支援ツールであり、生徒はインターネットを利用して、いつでもどこでもマイペースでライティングのトレーニングができます。



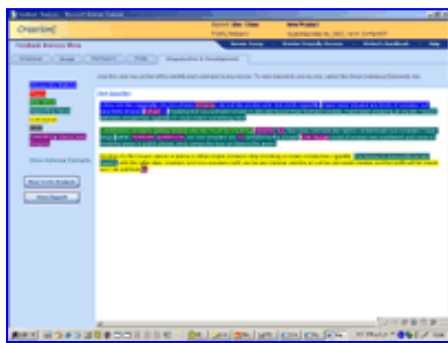
エッセイ提出後、即座にフィードバックが戻ってきますので、その場で見直しができます。記憶が新しいうちに自分の弱点の見直しができることで、学習において重要な反復練習の際にも効果を発揮します。



判定の所要時間

インターネットへの接続環境（*）にもよりますが、送信してからおよそ20秒以内で採点とフィードバックが返ってきます。

（*）通信速度56 k以上、Internet Explorer5.5以上またはNetscape6.1以上、WindowsまたはMachintoshのPC環境が必要です。



更に！



詳しくフィードバックが返ってきます。作成した文章にハイライトされ、ヴィジュアル的にも文章の構成に関して一目でバランスが見てとれます。このほかにも、スペリングミスや文法のミスなどもハイライトされてコメントがつきます。

Instructor用画面（画面をクリックすると画像が拡大されます。）



トピックの種類と数

トピックは、TOEFL、GMAT、Grades(4・6-12th)・College (1st and 2nd years) からお選びいただけます。

TOEFLには12のトピックが用意されております。これ以外に先生がご自身でご自由にトピックを作成していただくこともできます。

（但し、この場合にはフィードバックのみで点数は付きません。）トピックの種類および詳細は、[こちら](#)でご確認下さい。



アドバイス(フィードバック)の種類

生徒の方へは、Grammar・Usage・Mechanics・Style・Organization & Developmentの各項目毎に細かなフィードバックが与えられます。

例えば、「重複する単語が多いのでは?」「Passive Voiceが多いのでは?」などのコメントやハイライトされた各々の表示で、一目で文章構造のバランスを見て取れます。

また、先生ご自身で作成されたオリジナルのコメント（日本語可）も作成でき、より分かりやすいフィードバックコメントが追加できます。



教師への支援ツール

Instructor画面では、登録された生徒全体の進行状況（トピックのタイトル、最新の得点、エッセイ提出の回数、最新の提出日時など）の一覧がご覧いただける他、生徒全員のエラー項目と数の統計表示機能（弱点把握に利用）などがあります。



導入例

ある私立高等学校では、最近大学受験に増えてきた「自由英作文」問題の対策として、この【Criterion】を導入しています。



70分授業を2つに分け、最初の15～20分を指導時間としてタイピングの練習や英作文の構造についてその後、残りの50～55分をプラクティスとして実際に

【Criterion】を使って英作文を提出し、フィードバックを利用しながら弱点を強化すべく復習と再提出のためのリバイズにあてています。

【Criterion】は有効期限内であれば何度でも英作文を提出できるので、自分の考えを英語で表現しまとめていく過程で、作成した英作文を繰り返し見直すことができます。

実際、全国共通模擬試験などでも英語において顕著な成績を残しており、【Criterion】を十分に有効なツールとしてご利用いただいています。

【注目！】CriterionデモID無料発行中!!

このCriterionのデモ版をご試用いただけます。学生画面からのみのアクセスですが、上記のカラーでハイライトされた文章構成バランスをみる画面までご覧いただけます。【Criterionのデモ版の体験希望される方は[こちら](#)へ】（登録完了後、デモ用IDとパスワードをご連絡いたします。）



難しい操作はないので、こんなことになる心配もありません！

[Back to Top](#) 

次世代TOEFLで求められる英語運用能力の養成に！【LanguEdge™ Courseware】
～ LanguEdgeで先生が変わる。授業が変わる。学生の英語力が変わります。～

2005年から始まる次世代TOEFLでは、いよいよSpeakingが登場！また、複数のスキルを組み合わせた総合的な問題も加わって、より実際のコミュニケーションに必要な英語運用能力が求められます。

ETSでは、次世代TOEFLに移行する第一段としてLAN対応の教育支援ツールLanguEdge™ Coursewareを開発しました。クラスルーム教材として、テストとして、さらに先生方のトレーニングツールとして幅広くお使いいただけます。

ここでは、LanguEdgeの魅力をお伝えしてまいります。

Q . LanguEdgeって何？

A. ETSが次世代TOEFLを開発する過程で生まれた英語教育支援ツールです。

LanguEdgeの問題形式は次世代TOEFLに準じていますので、いち早くその内容を授業に取り入れることができます。
また学生の英語力養成に使えるだけでなく、教師の採点トレーニングも充実しています。

このほかにも、スペリングミスや文法のミスなどもハイライトされてコメントがつきます。

Q . どのような特長があるの？

A . 話題のSpeakingセクションなど、次世代TOEFLの問題を体験できます！
(画面はいずれもLanguEdge™ Coursewareより)

Speaking

外国語の四技能のうち、最も日本人が不得手と言われるSpeakingがいよいよ加わるのが次世代TOEFLの最大の特徴です。

Speakingテストというと英検やIELTSのような面接官とのインタビュー形式が一般的ですが、次世代TOEFLではコンピューターから問題が出題され、マイクを通じて回答をコンピューターに録音する方式となります。



Integrated Skills

WritingとSpeakingには、各スキルを単体で測る従来型の問題の他に、聞いたことについて書く・話す (Listening/Writing、Listening/Speaking)、読んだことについて書く・話す (Reading/Writing、Reading/Speaking) という複数のスキルを組み合わせた総合的な能力を測る問題が加わるのも特徴の1つです。文法や語彙がいくら頭に入っても、使えなければ実際のコミュニケーションには役立ちません。

次世代TOEFLでは、より'real-life'な英語力を問う観点から、Productiveな力が重視されます。



A .Speaking・Writingの採点トレーニングなど教師用ツールが充実しています！

ETSでは、英語学習者が英語運用能力を身につけるには、教師のトレーニングが最も重要と考えています。

そのため、LanguEdgeには他のプロダクトにはない教師用の採点トレーニングプログラムを充実させています。

Listening、Readingという受身のスキルでは、学習者がどの程度理解しているかを測ればいいわけですが、

Speaking、Writingという発信的なスキルでは、何を基準にどのようにレベルを判定すればよいかという採点の訓練を積むことが教師の側にも必要とされます。

LanguEdgeの採点トレーニングプログラムを通じて、ETSが全世界のテスト開発で確立したSpeaking・Writingの客観的な評価基準を身につけていただくことができます。ぜひ先生方のスキルアップ、研究・実践にご利用ください。



次世代TOEFLで求められる英語運用能力の養成をテーマに、
学習者のためだけでなく、教師にも役立つ教材・・・それがLanguEdge™です。

Q . LanguEdgeを試してみたいんだけど・・・

A . 体験型説明会'[Come & Touch](#)'にぜひお越しください。

2004年3月31日（水）までの土日祝を除く毎日、表参道のCIEE青山オフィスにて実施しております。（無料・予約制）

ご登録は、[こちら](#)からどうぞ。

（誠に勝手ながらご登録は教員・英語教育関係者の方に限らせていただきます。TOEFL受験者・一般の方のご参加はできませんので、予めご了承ください。）



「次世代TOEFL」記者発表会 報告

英語教育に改革を！

先月、4月15日（火）、東京において、国際教育交換協議会（CIEE）日本代表部 TOEFL事業部主催の「次世代TOEFL」記者発表を行いました。会見には、2002年に日本人初の米国TOEFL理事会理事になられた廣田 和子氏とTOEFLの運営・実施団体である米国ETSから極東地域担当ディレクターのスーザン・チンを迎え、次世代TOEFLまでの流れや、TOEFLテストに関する発表が行われました。



ETSより2005年9月から始動開始と発表されましたこの次世代TOEFLは、4つの技能を組み合わせたIntegrated skillを測る英語運用能力テストです。この新しいTOEFLに向けてETSにより開発された教育支援ツールであるCriterionとLanguEdgeのご紹介も含め、有意義なものとなりました。

記者発表会

日時： 2003年4月15日（火） 11:30～12:30

場所： 「レベル21 東京會館」（アーバンネット大手町ビル）

次世代TOEFLとは...

2005年9月から実施される予定で、従来の「Reading・Writing・Listening」の技能に「Speaking」技能を加えた新方式テストです。コミュニケーションの手段としての実践的英語力に重点を置いた英語運用能力評価テストとして期待されています。



ETSが実施している現行のTOEFLテストに加え、Reading・Listening・Writing・Speakingの4つの技能を組み合わせた能力を測ろうとする「次世代TOEFL」には、スピーキングセクションが加わり、リスニング・スピーキングとリーディング・スピーキングのパートが追加されることが特徴としてあげられます。

この新方式テスト「次世代TOEFL」に向けて英語教育者向けの支援ツールとして開発されたのが「LanguEdge™ Courseware」と「Criterion」です。どちらもパソコンを

介した一対一の指導が可能で、標準化された自動採点機能によって教師の労力を軽減し貴重な時間を節約するお手伝いをいたします。教師の仕事は採点することではなく、生徒への分かりやすい説明とやる気を与えることです!!

この記者発表会では、「次世代TOEFL」や2つの「次世代TOEFL対応教育支援ツール」に関してなど、記者の方々からのご質問も多くありました。今後も社会のニーズに合った英語運用能力を測る試験として常に進化しつづけるTOEFLテストへの社会全体からの関心の高さがうかがえました。

お問い合わせ・デモお申込み先：国際教育交換協議会（CIEE）
TOEFL事業部

電話：03-5467-5670（月～金、9:30～17:30）

Email：gpc@cieej.or.jp

Webからのお申込み：[こちらをクリック](#)

[Back to Top](#)

シリーズ、世界で学ぶ!!はじめての一步

～カナダ編～

カナダ大使館(Canadian Embassy)学術交流担当 レオ・ヨッフエ氏 Eメールインタビュー



カナダ大使館庁舎の外観

CIEEは各国への留学を考えている皆さんを応援しています!!
このシリーズでは、留学への「はじめての一步」を踏み出すための情報をお伝えしていきます。分かっているようで実ははっきりと把握できていない各国の留学情報を、公的情報機関を訪問して専門家に伺います。3回目の今回は、英語とフランス語が公用語のバイリンガルな国・カナダにフォーカスし、カナダ大使館のレオ・ヨッフエさんにお話を伺いました。

カナダ大使館について

- カナダへの留学に関して、カナダ大使館ではどのようなサービスが受けられますか？

1. 大使館の図書館が一般公開されています。開館時間は**月曜から金曜日は10:00～16:00**、**土曜日は13:00～17:00**です。語学学校、高校からカレッジ、大学などカナダ留学に関しての全ての分野・レベルの情報があり、学校の要項や出願願書、ビデオテープなどがあります。
2. **月曜日と木曜日**には**11時からと14時から**の**2回**、高校留学・カレッジ留学・大学留学と語学留学の分野に絞って**グループカウンセリング**を行っています。スケジュールについてはカナダ大使館の[ウェブサイト](#)をご覧ください。予約は、大使館図書館 <03-5412-6200>にご連絡ください。6月からは土曜日にもグループカウンセリングが始まります。
3. 留学先を決めるにあたって役に立つカナダの地域情報もあります。
4. カナダ大使館では教育フェアや秋のセミナーなど教育関連のイベントを行っています。(詳しくはカナダ大使館ウェブサイトをご覧ください。)



図書館の様子

- 遠方にお住まいの方にはどのようなサービスがありますか？

カナダ大使館では一般的な教育関連の質問に対してファックスまたは郵便でもお答えしていますのでこちらをご利用ください。

(Fax番号：03-5412-6287; 住所：〒107-8503 東京都港区赤坂7-3-38 カナダ大使館図書館)

また、カナダ留学に関する情報はカナダ大使館の[ウェブサイト](#)にもありますので御参照ください。

カナダ留学の魅力

- カナダ留学の特徴・魅力は何ですか？



整備された学習環境

まず、安全な環境であることです。そして、英語は、世界の人々に理解されやすい標準英語であると同時に、カナダは英語とフランス語を公用語としているので、2言語を学ぶことが可能です。
また、全てのレベルにおいて平均して高水準な教育で、幅広い選択肢と柔軟なシステムが整っています。カナダの学校は長年の経験から外国人生徒の受け入れに精通しており、世界中の多種・多様な文化や社会について価値ある知識を得られる多文化社会です。また、ビザの規則の改定により6ヶ月までの学生は就学許可なしで渡航が可能になりました。

- カナダで学ぶ学生の割合について教えてください。

2001年を除いた統計のうち、就学許可を得たカナダで学ぶ外国人長期留学者は約13万人でした。出身国順では、韓国・中国・日本・メキシコ・フランス・台湾・ドイツ・ブラジルとなっています。

2002年は1万3,000人の日本人学生がカナダで学んでいると見積もっています。そのうち半分の学生は短期留学プログラム（6ヶ月未満）に入学しています。大多数の学生が私立の語学学校、または公立カレッジか大学で語学の勉強をしました。修学許可を得た長期留学者のうち大学在学者は5%だけで、15%の長期留学者は小学校、中学校か高等学校に在籍していました。

- 大学やその他の機関で人気のある分野は何ですか？

人気の分野はビジネス、コンピュータ、環境学です。また、多くの大学が各々幅広い分野にわたって特徴的な学部を設けており、多くの小規模カレッジや大学もそれぞれに専門分野で優れています。

現在のところ、コンピュータテクノロジー（コンピュータグラフィックス）はカナダの大学、カレッジが世界の先端を行く分野です。カナダの大学はESL（第二言語としての英語）、FSL（第二言語としての仏語）、二ヶ国語教育やイマージョンプログラムにおいて豊富な経験があります。

- カナダで学んだ学生のその後はどのようになっていますか？

カナダの高校で学んだ学生が日本に帰国後、上智大学・学習院大学に入学したという報告があります。また、中等後教育（高等教育）プログラムを卒業した学生は帰国後、多国籍企業やカナダ系企業に就職、またはカナダ、アメリカや、その他の国の大学院へ進学しています。

カナダ留学の準備

- カナダ留学に必要な条件を教えてください。

高等学校へ留学する場合は、 平均的に優良な成績、異文化で生活する興味、勉強習慣 偏見のない柔軟な姿勢 が必要です。

大学留学の場合は、 特定分野に関する知識探求興味、高等学校での良い成績、英語でのコース受講可能な能力、もしくは英語準備コースの受講意志のある者、成功しようとする決意（物事を成し遂げようとする意志・決意）が必要です。

その他には、プログラムやコース、また興味によっても異なりますが、出願の際には直接教育機関とコンタクトを取ることが必要です。



- カナダで学ぶにあたっての重要な態度や心構えを教えてください。また、日本にいる間にどのような準備ができますか？

まず、大切なことは、新しい体験への心の準備；興味を持って聞く姿勢、ゴール設定と、勉強準備です。語学の勉強は新しいスポーツを習うのと同じことです。日本にいる間には、カナダに関するできる限りの情報を集めること。カナダでの生活、カナダの学校についてカナダ大使館を訪れたり、ウェブサイトを見て調べる。また、カナダへいったことのある人へ聞くなどしての情報収集が大切です。また、各自の質問に関しては志望校へ直接問い合わせることですね。そして、目的意識を持つこと 自分が何をしたいのかをはっきりさせることです。最後に、異文化体験をする心構えです。異なった生活スタイルについて学ぶことは興味深く、エキサイティングなことですよ。

- 海外で学ぼうとする人たちへメッセージをお願いします。

海外で学ぶということは、観光客として訪れるのとは異なります。観光客は外国の表面しか見ることができませんが、学生ならば表面下にあるものを体験するチャンスがあり、社会の習慣、伝統、価値観について真に理解することができます。この知識・経験は確実にあなたの人生において有意義なものとなり、視野を広げ将来的に就職の幅を広げるだけでなく、様々な機会に大いに役立つものです。海外留学は、かならずしも楽しいことではありませんが、その経験は人生において最も意味のある経験として残ることは間違いありません。

- どうもありがとうございました。

(写真提供：カナダ大使館)

(インタビュー：TOEFL事業部 秋山めぐみ/2003年4月24日)

[Back to Top](#) 

英語に限らず外国語を学習していると、言葉の世界の奥深さに気付かされます。古来の日本人は言霊（ことだま）と評して、言葉には霊が宿り、見えざる力を働かすのだと考えました。使い慣れた短いフレーズの中にもコミュニケーションを左右するほどの力があるのです。

ご好評頂いている連載「言葉の玉手箱」では、ETS公認コンサルタントの川手 ミヤジェイエフスカ 恩先生が、異文化間コミュニケーションにおける言葉の使い方の重要性に焦点をあて、興味深く解説してまいります。言葉の世界の面白さをお楽しみください。

Dr.川手 ミヤジェイエフスカ 恩（めぐみ）
(Megumi Kawate-Mierzejewska)
-Ed.D.Temple University-



テンプル大学ジャパン集中英語課程 助教授
2000年より、ETS公認コンサルタントを務める。

専門：中間言語語用論
(Interlanguage Pragmatics)

第7回：'I'll call you later.' ~ 「後で」？ それとも 「また」？ ~

'later'という表現はとかく誤解を招きやすいものようだ。にもかかわらず、'See you later（じゃあ、また）'という表現は、かなり定着してきていて、分かれ際にそう言われても、「何時にどこで？」と聞き返すこともないだろう。状況によっては、日本語で使われる「じゃあ、また」なのか、それとも「じゃあ、後で」なのだろうかなんて思うことがなげにしもあらずだが。これは、日本語の「また」という表現と「後で」というものの概念の違いからきているのかもしれない。



さて、それでは、電話をきる時に使われることもある'I'll call you later'というのは、どう解釈したらいいのだろうか。これを直訳すると「後で電話するね」となるわけであり、「また電話するね」というのとは違って来る。状況に合わせて「後で」なのか「また」なのかを判断して適切な解釈が必要なのだろうか。

何ヶ月か前に、アメリカに住む友人から電話があり30分もあればできるようなちょっとした調べ事を頼まれた。その友人はとても急いでいる様子で、すぐにでもその件を調べてほしいそうであった。その上、何分か世間話をした後、電話を切るとき'Well, anyway, I'll call you later'と言って切ったので、早急に調べてほしいのかしらと思いつく調べ、電話がかかってきたら悪いからと外出もせず家にいたが、結局その日は、電話はかかってこなかった。状況から判断し「じゃあ、いずれにしてもまた後で電話するわ」というふうに、この'later'はただの「また」ではなく「また後で」と解釈することもできると判断したわけであるが、どうやら依頼者の発話は行動に照らし合わせて解釈すると「じゃあ、いずれにしてもまた電話するわ」であったようだ。考えてみれば、'I'll call you later'といって電話をきった相手から、その日のうちにもう一度電話をもらったことなど記憶にないのだが。



このように、状況判断からしても意図がはっきりしない発話もあるようだ。ここで大切になるのが電話相手の発話意図の確認であるが、一言さらりと'You mean ... later in the day?'などと訊いて相手の発話意図を確かめておくと、かかってこない電話を待っているということもなく時間も有効に使えるだろう。また、依頼者はといえば、その日のうちにもう一度電話をするのであればもう少し具体的に時間を表す表現も付け加え、'I'll call you later this evening'とか'I'll call you in two hours'のように言うことが多いのかも知れない。

いずれにしても、英語の'later'の概念は「また」という時間的限定のないものから「また後で」という時間的限定のあるものまで含め、日本語のそれより広いかも知れないのでそれが使われた時の状況判断は必要となるであろう。

川手 恩 テンプル大学ジャパン

TOEFL研究セミナー in 京都 (教育者の方対象)

～ アカデミック・ライティングや英語伝達能力育成に向けての効果的な学習方法とその指導方法～
【参加費無料・事前登録制】

このセミナーは、既に終了しております。

昨年12月に東京で開催され、好評を博したこのセミナーを京都で開催することになりました。高等学校・大学などの教育者レベルでの情報交換の場としても、ご活用ください。

このセミナーでは、2000年から2004年にかけてのTOEFLの動向に沿って21世紀における英語教育のあり方を考えます。特にアカデミック・ライティングや英語伝達能力育成に向けての効果的な学習方法とその指導方法を探ってみます。また、コミュニカティブな英語能力を正しく測定しようという試みによって2005年9月から始動予定の次世代TOEFLに向けての効果的な学習指導方法等もETSの開発した教育支援ツール【Criterion】とともにご紹介します。



講師：
 Dr.川手 ミヤジェイエフスカ 恩 (めぐみ)
 (Megumi Kawate-Mierzejewska)
 -Ed.D.Temple University Japan-



テンブル大学集中英語課程
 助教授
 2000年より、ETS公認コンサルタントを務める。

 専門：中間言語語用論
 (Interlanguage Pragmatics)

【セミナー詳細】

開催スケジュール	
日時：	2003年5月31日(土) 14:00 - 16:00
場所：	同志社大学 今出川キャンパス 神学館地下2階 (G2)
定員：	150名様(先着順)
主催：	国際教育交換協議会(CIEE) TOEFL事業部
共催：	同志社大学国際センター
協力：	テンブル大学ジャパン

セミナー内容
<ol style="list-style-type: none"> 1. 2000年から2004年にかけてのTOEFLの動向 2. TOEFLエッセイの採点基準 3. アカデミックライティング <ol style="list-style-type: none"> 1. アカデミック・ライティング指導における重要点 <ol style="list-style-type: none"> 1. 文や段落だけでなく、エッセイ全体の構成 2. 組み立て：線状の(西洋的な)アイディアの習得 3. 内容：アイディアの発展、それをサポートする具体例 4. まとまりのある文章：主題のある文章。つながりや文の流れのしっかりした文や表現 2. アカデミック・ライティングの指導方法 3. 書きはじめる前段階のスキル練習 <ol style="list-style-type: none"> 1. マッピング：アイディアの方向性を示す「地図」の作成

2. クラスタリング：共通性のあるアイデアをまとめあげる
4. Expository Essayを例にとり
 1. さまざまなトピックの紹介
 2. エッセイの構成方法とアウトライン
 3. それぞれの段落の書き方
 4. エッセイに一貫性を持たせるための工夫(coherence devices)
 5. 段落レベルと文章レベルでの様々な転換語(transitions)の使い方
5. 評価と分析(1)
 1. 的を射たものが書けているか
 2. 長所と短所はどこか
 3. どこがぼやけているか、そしてそれはなぜか
 4. どうすればよりよいエッセイになるか
6. 評価と分析(2)
 1. 学生によって書かれた実際のエッセイの分析
 2. よいエッセイとは
4. e-ratreを使ったアカデミック・ライティングの指導方法
5. コミュニカティブな英語能力測定と新世代TOEFL
6. 英語伝達能力育成に向けての効果的な学習方法とその指導方法
7. 21世紀に望まれる英語教育のあり方（おしまいに）

[Back to Top](#) 



先月号に引き続き、初めてTOEFLを受験する方にスポットをあてて4名にインタビューしたものをお伝えしています。

高校生、大学生、社会人、管理職の方とそれぞれ立場も様々で、皆さんそれぞれの目標に向かって一生懸命頑張っていたらっしゃいました。また受験した感想もそれぞれで、この4名が語ってくださったことが、是非ともこれから初めて受験されようと思われる方のご参考になればと思っております。今回は社会人2名のインタビュー内容をお伝えいたします。

【インタビューに答えて下さった受験者の方々のデータ】

氏名	年齢	性別	職業	将来の夢
匿名希望Aさん	18	男性	高校生	
匿名希望Bさん	19	女性	大学生	英語の先生
匿名希望Cさん	40	女性	マーチャンダイザー	現在ファッション業界で管理職として働いているが、転職を希望。そのために大学院へ行きたい。
匿名希望Dさん	28	男性	児童福祉関係	現在の仕事で得た知識も生かしつつ、留学し更にその分野を学びたい。

- 今回のTOEFL受験の理由は何ですか？

Cさん アメリカの大学院に行くために受験しました。現在、既に管理職なのでMBA以外の大学院を目指しています。そのためにGREの受験も必要です。

Dさん 奨学金団体への応募を考えていて、そこがTOEFLスコアの提出を要求しているので受験しました。

- 普段英語を使う頻度を教えてください。

Cさん 仕事上フランス語は使いますが、英語は使いません。

Dさん 字幕を見ながらですが、英語の映画をよく見ます。また、家庭教師として子供に英語を教えています。

- 事前にどのように準備しましたか？

Cさん TOEFL受験準備のための学校に週2、3回、1日3時間を1ヵ月半通いました。文法から始まり、傾向と対策まで勉強しました。

Dさん 2ヶ月前くらいから準備を始めました。リスニングは耳を鍛えるため、NHKのラジオ英語講座を録音して、仕事の移動中などに1日中繰り返し聞いていました。机の上での勉強は語彙力を増やすため単語中心にしましたが、なかなか時間が取れませんでした。ライティング強化のためにも、参考書を使い、時間を計ってエッセイを書きました。

- 受験してみた感想はいかがですか？

Cさん： TOEFL受験準備の学校では紙の上の勉強だけだったので、今回初めてコンピュータで問題を解くことになりました。チュートリアルは全部やりました。コンピュータ操作に問題はありませんでしたが、緊張して最初のlisteningセクションがうまくできませんでした。特に、問題の最初の部分を聞き逃しそうになりました。

Dさん： コンピュータ操作には問題はありませんでしたが、テストは難しかったです。特にストラクチャーが解けている確信が持てないままテストを進めていった状態で、フラストレーションが溜まりましたね。ストラクチャーとエッセイのスコア構成など、スコアがどのように出されているかわからないので点数を取るための対策が立てにくいと思いました。

- 今後も受験してみたいと思いますか？ また、今回の経験から今後どのように準備していったら良いと思いましたか？

Cさん： はい。今後2、3回受けなければいけないですね。TOEFL受験準備の学校に引き続き行こうと思っています。リスニングはとにかく耳を慣らすしかないと思ったので、リスニングのためのCDをもっと聞くことにします。

Dさん： ストラクチャーとエッセイの強化が必要だと思いました。リスニングは、引き続きNHK英語講座を自転車で乗っているような時間も利用して聞こうと思います。NHK英語講座はTOEFLと比べて速度がゆっくりなので、ニュースも英語で聞くようにしたいです。

- 他の英語試験を受験したことはありますか？ あれば他の試験と比べてどうですか？

Cさん： TOEICを受けたことがあります。英語力そのものよりは、ちょっと現場にいればわかるとといったような設問が多いですね。それに比べてTOEFLは、文法や英語全般が理解できていないと解けないです。

- 最後に2005年からスピーキングセクションの導入について知っていますか？ またもし受けなければならぬ場合どのように準備しようと思いますか？

Cさん： スピーキングが入るといのはTOEFL受験準備の学校で聞いていました。フランス語の習得の経験から、英語も文法が理解できていてきちんと書くことができればスピーキングのテストが入ってきても特に怖いとは思いません。書くことと話すことには大差は無いといいます。

Dさん： 初耳です。ただ、応募しようとしている奨学金の財団の試験に英語面接があるので、話す練習も必要です。まずは英会話学校に通うと思いますが、できればボランティアや外国人の友人を作ったりして、お金をかけずに英語を話すという機会を見つけて、生の英語に触れることでスピーキング力をつけたいです。

- 本日は突然のインタビューに応じていただきありがとうございました。

(インタビュー：TOEFL事業部 瀬高聡子)

[Back to Top](#) 

TOEFL-CBTセミナー
～ コンピュータ版TOEFLを初めて受験する方、必見！～

このセミナーは、既に終了しております。

当事業部では、国際標準の英語能力評価試験であるTOEFL®の日本事務局として、コンピュータ版TOEFL®(TOEFL-CBT)について分かりやすくご説明するセミナーを無料で開催しております。(東京：毎月1回、関西：隔月1回予定)



ご好評頂いているこのセミナーでは、ETS公認コンサルタントが試験対策とともにコンピュータ版試験の説明をいたします。質疑応答の時間もございますので、不安を取り除いて本番試験に望めます!!セミナーに参加いただいた方にはTOEFL CD-Sampler(定価\$18：サンプル問題67題含む)も無料で配布しております。

世界に飛躍するために今後TOEFLを受験されるご予定の皆様はもちろんのこと、コンピュータ版TOEFLにご興味のある方はどなたでも参加できます。今後の準備に是非お役立て下さい。

【セミナー詳細】

東日本エリア(東京)開催スケジュール

日時：	2003年6月16日(月) 18:30 20:00
場所：	東京ウィメンズプラザ 視聴覚室
定員：	150名様(先着順)

西日本エリア(京都)開催スケジュール

日時：	2003年5月31日(土) 11:00-12:30
場所：	同志社大学 新町校舎 尋真館21番教室(Z21)
実施団体：	主催：CIEE、共催：同志社大学、協力：テンプル大学ジャパン
	関西におけるTOEFL-CBTセミナーは、隔月開催を予定しております。